

令和4年度第1回神戸市市民福祉調査委員会計画策定・検証会議 議事要旨

- 日 時 令和4年11月17日(木) 午後3時～午後4時
- 場 所 神戸市役所1号館17階 文化スポーツ局大会議室・オンライン
- 議 題 “こうべ”の市民福祉総合計画2025 検証評価結果について(令和3年度評価)
事務局より資料に基づいて説明
- 主な意見
 - ・質的評価については良い考えだが、リアリティがない。全て前向きな内容として記載されているため、課題も記載されていると良い。
 - ・今回なぜこの事業をヒアリング対象としたのかについて記載があると良い。
 - ・ふらっとホームの報告の中で、来庁という言葉が使用されている。居場所というコンセプトの中で、来庁という表現に違和感がある。
 - ・ボランティアの方の貢献度が大きいと実感した。ボランティアの方に甘えていて良いのかということも疑問に思った。
 - ・カフェマネージャーの話の中で、「多くの苦勞がありました」とあるが、その苦勞についても触れ、課題をもう少し明らかにした方が良い。次年度のヒアリングでも苦勞や課題についても触れてヒアリングを行うと良い。
 - ・資料2右肩のロゴマークの使用意図を紹介した上で使用する方が有意義である。
 - ・計画の基本理念としてソーシャルインクルージョンというものをあげているため、社会的排除の問題を考えないといけない。SDGSのことも計画に入れたが、誰1人取り残さないという共通のテーマがある。どうしても熱心に活動している人たちが前に出てくるが、そうなったときに見えなくなってしまう問題をどう捉えていくのかということも評価を考えるうえで検討してほしい。
 - ・計画を評価するプロセスの中で、量的調査だけでは把握できない地域住民の活動を捉えるとともに、計画がどういう風に地域に影響を与えているのかといったことを評価の中で検討いただけると計画自体の深みや市民福祉の広がりにつながっていくのではないと思う。